

泌尿器科に通院中の患者さんへ(臨床研究に関する情報)

第1版 2026年7月2日作成

《研究の名称》

免疫チェックポイント阻害薬時代における高リスク腎細胞癌に対する周術期治療に関する後ろ向き観察研究

《倫理審査と許可》

新潟大学倫理審査委員会の審査を受け、研究機関の長の許可を受けて実施しています。

《研究代表機関の名称・研究責任者の氏名》

－ 多機関共同研究の研究代表者、主研究機関研究責任者

新潟大学泌尿器科 教授 大澤 崇宏

－ 共同研究機関 研究責任者

1	愛知県がんセンター	泌尿器科	部長	小島 崇宏
2	秋田大学	腎泌尿器科学講座	助教	関根 悠哉
3	岩手医科大学	泌尿器科	教授	小原 航
4	愛媛大学医学部	泌尿器科	准教授	三浦 徳宣
5	大分大学医学部	腎泌尿器外科学講座	教授	秦 聡孝
6	大阪公立大学	泌尿器科	講師	加藤 実
7	大阪大学	泌尿器科	准教授	河嶋 厚成
8	岡山大学病院	学術院医歯薬学域	講師	別宮 謙介
9	香川大学	泌尿器科	教授	杉元 幹史
10	神奈川県立がんセンター	泌尿器科	医長	鈴木 敦人
11	がん研究会有明病院	泌尿器科	副医長	竹村 公佑
12	岐阜大学	泌尿器科	講師	飯沼 光司

13	九州大学	大学院医学研究院泌尿器科学分野	准教授	塩田 真己
14	京都大学大学院医学研究科	泌尿器科	講師	増井 仁彦
15	熊本大学病院	生命科学研究部泌尿器科学講座	教授	神波 大己
16	久留米大学	泌尿器科学講座	講師	植田 浩介
17	神戸大学	泌尿器科	講師	原 琢人
18	国際医療福祉大学成田病院	腎泌尿器外科	教授	井上 高光
19	国立がん研究センター中央病院	泌尿器後腹膜腫瘍科	科長	松井 喜之
20	国立病院機構四国がんセンター	泌尿器科	部長	橋根 勝義
21	埼玉医科大学国際医療センター	泌尿器腫瘍科	教授	城武 卓
22	札幌医科大学	泌尿器科	教授	舩森 直哉
23	産業医科大学	泌尿器科	准教授	富崎 一向
24	済生会熊本病院	泌尿器科	部長	渡邊 紳一郎
25	島根大学	泌尿器科学講座	教授	和田 耕一郎
26	順天堂大学附属病院	泌尿器科	准教授	永田 政義
27	信州大学	泌尿器科	准教授	皆川 倫範
28	中東遠総合医療センター	泌尿器科	部長	松下 雄登
29	千葉大学	泌尿器科	准教授	佐塚 智和
30	筑波大学附属病院	泌尿器科	准教授	神鳥 周也
31	徳島大学病院	医歯薬学研究部 泌尿器科学分野	教授	古川 順也
32	東京科学大学	腎泌尿器外科学	講師	田中 一

33	東京慈恵会医科大学附属病院	泌尿器科	教授	木村 高弘
34	東京慈恵会医科大学付属柏病院	泌尿器科	教授	三木 淳
35	東京女子医科大学	泌尿器科	准教授	吉田 一彦
36	東北大学	泌尿器科	教授	伊藤 明宏
37	鳥取大学	泌尿器科	准教授	森實 修一
38	富山大学	腎泌尿器科	教授	北村 寛
39	長岡赤十字病院	泌尿器科	部長	米山 健志
40	長崎大学	医歯薬学総合研究科泌尿器科学	医員	大木 雅春
41	名古屋大学	医学系研究科泌尿器科学	教授	赤松 秀輔
42	奈良県立医科大学	泌尿器科	准教授	三宅 牧人
43	新潟県立がんセンター新潟病院	泌尿器科	医長	晝間 楓
44	浜松医科大学	泌尿器科学講座		田村 啓多
45	福井大学医学部	泌尿器科	教授	寺田 直樹
46	弘前大学医学部附属病院	泌尿器科学講座	教授	畠山 真吾
47	北海道がんセンター	泌尿器科	部長	原林 透
48	三重大学医学部附属病院	腎泌尿器外科	教授	井上 貴博
49	宮崎大学	泌尿器科	教授	賀本 敏行
50	山形大学	腎泌尿器外科学講座	教授	土谷 順彦
51	山口大学	泌尿器科	助教	藤井 央法
52	琉球大学大学院医学研究科 腎泌尿器外科学講座	腎泌尿器外科学講座	教授	猪口 淳一

53	和歌山県立医科大学	泌尿器科	准教授	山下 真平
54	北海道大学	腎泌尿器外科学教室	教授	安部 崇重
55	日本医科大学病院	泌尿器科	教授	赤塚 純

《研究の目的・意義》

腎細胞癌(特に再発リスクの高い症例)に対する手術前後の治療の実際の状況や治療成績が明らかになり、将来のより良い治療法の確立につながることを期待されます

《研究実施期間》

研究機関の長の実施許可日から 2028 年 3 月 31 日まで。

《対象となる試料・情報の取得期間》

京都大学医学部附属病院泌尿器科において、腎細胞癌に対して手術を受けた患者さんの中で、下記に該当する方。

- ・2018 年 8 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日までに下大静脈腫瘍塞栓があり、遠隔転移のない腎細胞癌と診断された患者さん(コホート A)

- ・2022 年 8 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日までに、根治的腎摘除術を施行され再発リスクが高い腎細胞癌と診断された患者さん(コホート B)。

《試料・情報の利用目的・利用方法》

本研究は、多施設共同の後ろ向き観察研究であり、既存の診療録情報のみを用いて実施します。また、各施設で診療録から主に下記の必要な情報を収集し、ID化したうえで研究代表機関(新潟大学)に集約して解析します。研究の成果は、学会や専門誌などの発表に使用される場合がありますが、名前など個人が特定できるような情報が公表されることはありません。

《利用または提供する試料・情報の項目》

病歴(性別、年齢、身長、体重、使用薬剤)、血液・尿検査結果、画像検査結果、病理結果、手術記録、治療内容、治療効果 を使用します。

《利用または提供を開始する予定日》

研究機関の長の実施許可日以降

《当該研究を実施する全ての共同研究機関の名称および研究責任者の職名・氏名》

1	愛知県がんセンター	泌尿器科	部長	小島 崇宏
2	秋田大学	腎泌尿器科学講座	助教	関根 悠哉
3	岩手医科大学	泌尿器科	教授	小原 航
4	愛媛大学医学部	泌尿器科	准教授	三浦 徳宣
5	大分大学医学部	腎泌尿器外科学講座	教授	秦 聡孝
6	大阪公立大学	泌尿器科	講師	加藤 実
7	大阪大学	泌尿器科	准教授	河嶋 厚成
8	岡山大学病院	学術院医歯薬学域	講師	別宮 謙介
9	香川大学	泌尿器科	教授	杉元 幹史
10	神奈川県立がんセンター	泌尿器科	医長	鈴木 敦人
11	がん研究会有明病院	泌尿器科	副医長	竹村 公佑
12	岐阜大学	泌尿器科	講師	飯沼 光司
13	九州大学	大学院医学研究院泌尿器科学分野	准教授	塩田 真己
14	京都大学大学院医学研究科	泌尿器科	講師	増井 仁彦
15	熊本大学病院	生命科学研究部泌尿器科学講座	教授	神波 大己

16	久留米大学	泌尿器科学講座	講師	植田 浩介
17	神戸大学	泌尿器科	講師	原 琢人
18	国際医療福祉大学成田 病院	腎泌尿器外科	教授	井上 高光
19	国立がん研究センター中 央病院	泌尿器後腹膜腫瘍科	科長	松井 喜之
20	国立病院機構四国がん センター	泌尿器科	部長	橋根 勝義
21	埼玉医科大学国際医療 センター	泌尿器腫瘍科	教授	城武 卓
22	札幌医科大学	泌尿器科	教授	舩森 直哉
23	産業医科大学	泌尿器科	准教 授	富崎 一向
24	済生会熊本病院	泌尿器科	部長	渡邊 紳一郎
25	島根大学	泌尿器科学講座	教授	和田 耕一郎
26	順天堂大学附属病院	泌尿器科	准教 授	永田 政義
27	信州大学	泌尿器科	准教 授	皆川 倫範
28	中東遠総合医療センター	泌尿器科	部長	松下 雄登
29	千葉大学	泌尿器科	准教 授	佐塚 智和
30	筑波大学附属病院	泌尿器科	准教 授	神鳥 周也
31	徳島大学病院	医歯薬学研究部 泌尿器科学分野	教授	古川 順也
32	東京科学大学	腎泌尿器外科学	講師	田中 一
33	東京慈恵会医科大学附 属病院	泌尿器科	教授	木村 高弘
34	東京慈恵会医科大学付 属柏病院	泌尿器科	教授	三木 淳

35	東京女子医科大学	泌尿器科	准教授	吉田 一彦
36	東北大学	泌尿器科	教授	伊藤 明宏
37	鳥取大学	泌尿器科	准教授	森實 修一
38	富山大学	腎泌尿器科	教授	北村 寛
39	長岡赤十字病院	泌尿器科	部長	米山 健志
40	長崎大学	医歯薬学総合研究科泌尿器科学	医員	大木 雅春
41	名古屋大学	医学系研究科泌尿器科学	教授	赤松 秀輔
42	奈良県立医科大学	泌尿器科	准教授	三宅 牧人
43	新潟県立がんセンター新潟病院	泌尿器科	医長	晝間 楓
44	浜松医科大学	泌尿器科学講座		田村 啓多
45	福井大学医学部	泌尿器科	教授	寺田 直樹
46	弘前大学医学部附属病院	泌尿器科学講座	教授	畠山 真吾
47	北海道がんセンター	泌尿器科	部長	原林 透
48	三重大学医学部附属病院	腎泌尿器外科	教授	井上 貴博
49	宮崎大学	泌尿器科	教授	賀本 敏行
50	山形大学	腎泌尿器外科学講座	教授	土谷 順彦
51	山口大学	泌尿器科	助教	藤井 央法
52	琉球大学大学院医学研究科 腎泌尿器外科学講座	腎泌尿器外科学講座	教授	猪口 淳一
53	和歌山県立医科大学	泌尿器科	准教授	山下 真平
54	北海道大学	腎泌尿器外科学教室	教授	安部 崇重
55	日本医科大学病院	泌尿器科	教授	赤塚 純

56	新潟大学	泌尿器科	教授	大澤 崇宏
----	------	------	----	-------

《試料・情報の管理について責任を有する者の氏名または名称》

新潟大学泌尿器科 教授 大澤 崇宏

《研究対象者またはその代理人の求めに応じて、研究対象者が識別される試料・情報の利用または他の研究機関への提供を停止すること及びその方法》

ご自身の試料・情報を研究に利用されたくない方は、連絡先までその旨お知らせ頂ければ、解析対象から削除します。

《他の研究対象者等の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内での研究に関する資料の入手・閲覧する方法》

他の研究対象者等の個人情報及び知的財産に支障がない範囲で研究に関する資料の入手・閲覧が可能です。希望される方は、問合せ窓口までお知らせください。ただし、研究の独創性確保に支障のない範囲内での情報開示を行います。

《研究資金・利益相反》

本研究は、研究代表機関である新潟大学および参加各施設における講座研究費・運営費を用いて実施します。

本研究の実施にあたり、特定の企業からの資金提供は受けません。

利益相反については、「京都大学利益相反ポリシー」「京都大学利益相反マネジメント規程」に従い、「京都大学臨床研究利益相反審査委員会」において適切に審査しています。

《研究対象者およびその関係者からの求めや相談等への対応方法》

－ 研究内容に関する問い合わせ先

京都市左京区聖護院川原町 54

京都大学医学部附属病院 泌尿器科 講師 増井仁彦

電話 075-751-3337(代表) FAX 075-751-3740

- 京都大学の苦情等の相談窓口
京都大学医学部附属病院 臨床研究相談窓口
電話 075-751-4748
E-mail ctsodan@kuhp.kyoto-u.ac.jp